

● 総務環境委員会の視点から ●

デジタル技術の活用について

問 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について、RPA(ロボティックプロセスオートメーション) の活用の状況は。

答 市民サービスの向上のため、窓口受付支援システムを導入し、税務課で 352 時間、市民課で 112 時間の業務時間を削減できている。

脱炭素先行地域づくり事業に対する助成について

問 高山市は、環境省から国の脱炭素先行地域に県内で初めて選定された。2050 年の市全域ゼロカーボンの実現を目指す中で、地熱発電に関する市の考えは。

答 脱炭素先行地域づくり事業は、5年間、国の交付金を得ながら実施する事業で、今回は地熱発電の取組は入っていない。ゼロカーボンに向けては、様々な再生可能エネルギーの活用が必要であり、将来的には地熱発電についても検討しなければならないと考える。

● 福祉文教委員会の視点から ●

人工透析療養者への支援について

問 人工透析通院費助成で介護タクシー等を利用する場合は、手続きを福祉課で行うのか。

答 償還払いとなるため福祉課の窓口での対応となる。

GIGA スクール構想について

問 これまでの取組の評価は。

答 教育研究所にいる ICT 支援員が学校に出向いて ICT を広める役割を果たしている。その他、研修等に参加し全体の質が上がるよう取り組んでいる。

● 産業建設委員会の視点から ●

伝統的工芸品産業の後継者育成

問 後継者育成の助成についてどのような事業を行っているか。

答 一位一刀彫、春慶の事業所または研修者への助成、伝統建築についても事業所と研修生に助成し後継者育成をしている。

若者支援

問 若者の U ターンを促進する意向はどうか。

答 若者の支援制度については地元就職の支援金や家賃の初期経費に対する支援、奨学金の支援などがある。奨学金の支援については、当初5年間でスタートして徐々に期間を短縮し廃止する予定であったものを元に戻して拡充し実施している。若者地元就職支援金は、地元企業に就職される方が使われる場合が多いが、地元で自ら開業された方も対象にしているので窓口で相談してほしい。